

本時の目標

樊噲の主張内容を評価する。

主張A

夫秦王有虎狼之心。

- 19 虎狼之心 虎や狼のように残忍な心。
- 20 不能挙 あまり多くて、数えきれない。
- 21 恐不勝 あまり多くて、(処罰)しきれないのを恐れる。

殺人如不能举、刑人如恐不胜。

天下皆叛之。

主張B

懷王与諸將約曰、

- 22 懷王 囚楚の王。沛公や項王らの諸軍の盟主として秦の討伐を命じた。
- 23 豪毛 ほんのわずか。補「毫毛」と同じ。
- 24 霸上 酈霸水(渭水の支流)のほとりの地。現在の陝西省西安市の東。

『先破秦入咸陽者、王之。』

今、沛公先破秦入咸陽、

主張C

豪毛不敢有所近、封閉宮室、還軍霸上、

以待大王来。

- 25 関 関所。補ここでは、函谷関。

故遣将守関者、備他盗出入与非常也。

劳苦而功高如此。

- 26 封侯之賞 諸侯にとりたてる恩賞。
- 27 細説 つまらない者の告げ口。

主張D

未有封侯之赏。

而聽細説、欲誅有功之人。

此亡秦之续耳。

窃为大王不取也。

- 28 続 二の舞。
- 29 窃 内々に。私が考えますに。補自分の考えを言うときの謙遜の言葉。
- 30 不取 賛成しかねる。

項羽の怒りのポイントはどこにあるのか？

項羽の率いる楚軍は、前進しながら秦の土地を攻略し平定して、函谷関に到着した。

楚軍行略_ニ定_シ秦_ノ地_ニ、至_ル函谷関_ニ。

函谷関にはすでに沛公の兵がおり、関所を守っていて進んで行くことができなかった。

有_リ兵_ヲ守_リ関_ヲ、不_レ得_レ入_ル。

その上また、沛公がもはや都の咸陽をうち破ったということを知り、

又_キ聞_キ沛公_ヲ已_ニ破_ル咸陽_ニ、

項羽は非常に怒り、当陽君英布らをやりに、函谷関の守備をうち破らせた。

項羽大怒_リ、使_ム当陽君_等擊_ク関_ヲ。

項羽はすぐそのまま関中に入り、戯西に進駐した。

項羽遂_ニ入_リ、至_ル于_ニ戯西_ニ。

このとき沛公は霸水のほとりに軍をとどめ、まだ項羽にお目にかかる機会を得なかった。

沛公軍_ニ霸上_ニ、未_ダ得_下与_ニ項羽_一相_{見_上ユル}。

沛公の左司馬であった曹無傷が人を項羽のところに行って言わせる。

沛公_ノ左司馬_{曹無傷}、使_{メテ}人_ヲ言_ハ於_ニ項羽_一曰_{ハク}、

「沛公は関中の王となろうと思ひ、

「沛公欲_シ王_{タラント}関中_ニ、

子嬰を宰相にして人望をあつめ、府庫にある珍しい宝物はすべてこれを保有している。」と。

使_メ子嬰_ヲ為_ラ相_ト、珍宝_ヲ尽_ク有_レ之_ヲ。

項羽は大いに怒って言うには、「翌朝は兵士どもに酒食の大振舞いをして大いに士気をあげよ。

項羽大怒_{リテ}曰_{ハク}旦日_ニ饗_{セヨ}士卒_ヲ。

一挙に沛公の軍をうち破ってしまおう。」と。

為_シ擊_ク破_ス沛公_ノ軍_ヲ。

良日、沛公之参乗樊噲者也。項王曰、壯士。賜之卮酒。則与斗卮酒。噲拜謝起、立而飲之。項王曰、賜之彘肩。則与一生彘肩。樊噲覆其盾於地、加彘肩上、拔劍、切而啗之。



「鴻門の会」跡地に建てられた会場

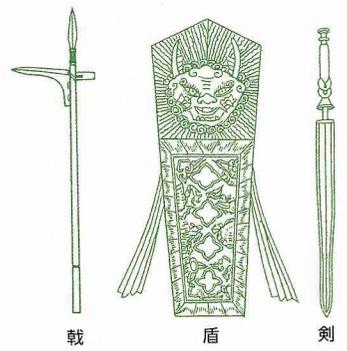
項王曰、壯士能復飲乎。樊噲曰、臣死且不避。卮酒安足辭。夫秦王有虎狼之心。殺人如不能拳、刑人如恐不勝。天下皆叛之。懷王與諸將約曰、先破秦入咸陽者王之。今沛公先破秦入咸陽、豪毛不取、有功之人、此亡秦之續也。而聽細說、欲誅有功之人。此亡秦之續也。耳。窃為大王不取也。

項王未以應曰、坐。樊噲從良坐。坐須臾、沛公起如廁、因招樊噲出。

(史記、項羽本紀)

学習のポイント

- 1 樊噲は、なぜ「此亡秦之続耳。」(41. 4)と言っているのか。
- 2 樊噲は、どのような人物として描かれているか。



13 参乗 護衛のために同乗する者。

14 卮酒 大杯に入れた酒。罍「卮」は、取っ手のある大杯。

15 斗 容積の単位。罍当時の一斗は、約二リットル。

16 彘肩 豚の肩の肉。

17 死且不避 死ぬことでさえも何とも思っていない。句法「且」は、次の反語と呼应して抑揚の形となる。

18 安足辞 どのようにして辞退するほどのことがあろうか。句法「安」は、反語の形。

19 虎狼之心 虎や狼のように残忍な心。

20 不能拳 あまり多くて、数えきれない。

21 恐不勝 あまり多くて、(処罰)しきれないのを恐れる。

22 懷王 囚楚の王。沛公や項王らの諸軍の盟主として秦の討伐を命じた。

23 豪毛 ほんのわずか。罍「毫毛」と同じ。

24 覇上 酈霸水(渭水の支流)のほとりの地。現在の陝西省西安市の東。

25 「大王」とは、誰か。

26 関 関所。罍ここでは、函谷関。

27 細説 つまらない者の告げ口。

28 封侯之賞 諸侯にとりたてる恩賞。

29 窃 内々に。私が考えますに。罍自分の考えを言うときの謙遜の言葉。

30 不取 賛成し兼ねる。

31 須臾 わずかな時間。

▽訓読で注意する文字

於是(是に於いて) 甚(甚だ)

即(即ち) 欲(欲す) 遂(遂に)

尽(尽く) 而(読まない) (而るに)

夫(夫れ) 如(ごとし)

不能(能はず) 敢(敢へて)

句法

何如。[疑問] 90ページ

何為者。[疑問] 90ページ

…乎。[疑問] 90ページ

死且不避。卮酒安足辞。[抑揚・反語] 付録17/91ページ

未有不取之賞。[再読文字] 94ページ

…耳。[限定] 付録17ページ

重要句法

不^ニ敢^{ヘテ}入^セ

書 訳

敢へて入らざらず
決してしようとしない

主張C

行動①

豪毛不^ニ敢^{ヘテ}有^ラ所^レ近^{ツクル}、封^ニ閉^シ宮室^ヲ、
還^{リテ}軍^ニ霸^{シテ}上^ニ以^テ待^{テリ}大王^ノ来^{タルヲ}。

行動②

故^{ラニ}遣^{ハシ}将^ヲ守^{ラシメシ}関^ヲ者^ハ、
備^{ヘシ}他^ニ盜^ノ出^ト入^ト与^ニ非^ニ常^一也。
劳^{ダシクシテ}苦^シ而^シ功^{キコト}高^ク如^ク此^{クノ}。

行動①を説明せよ。

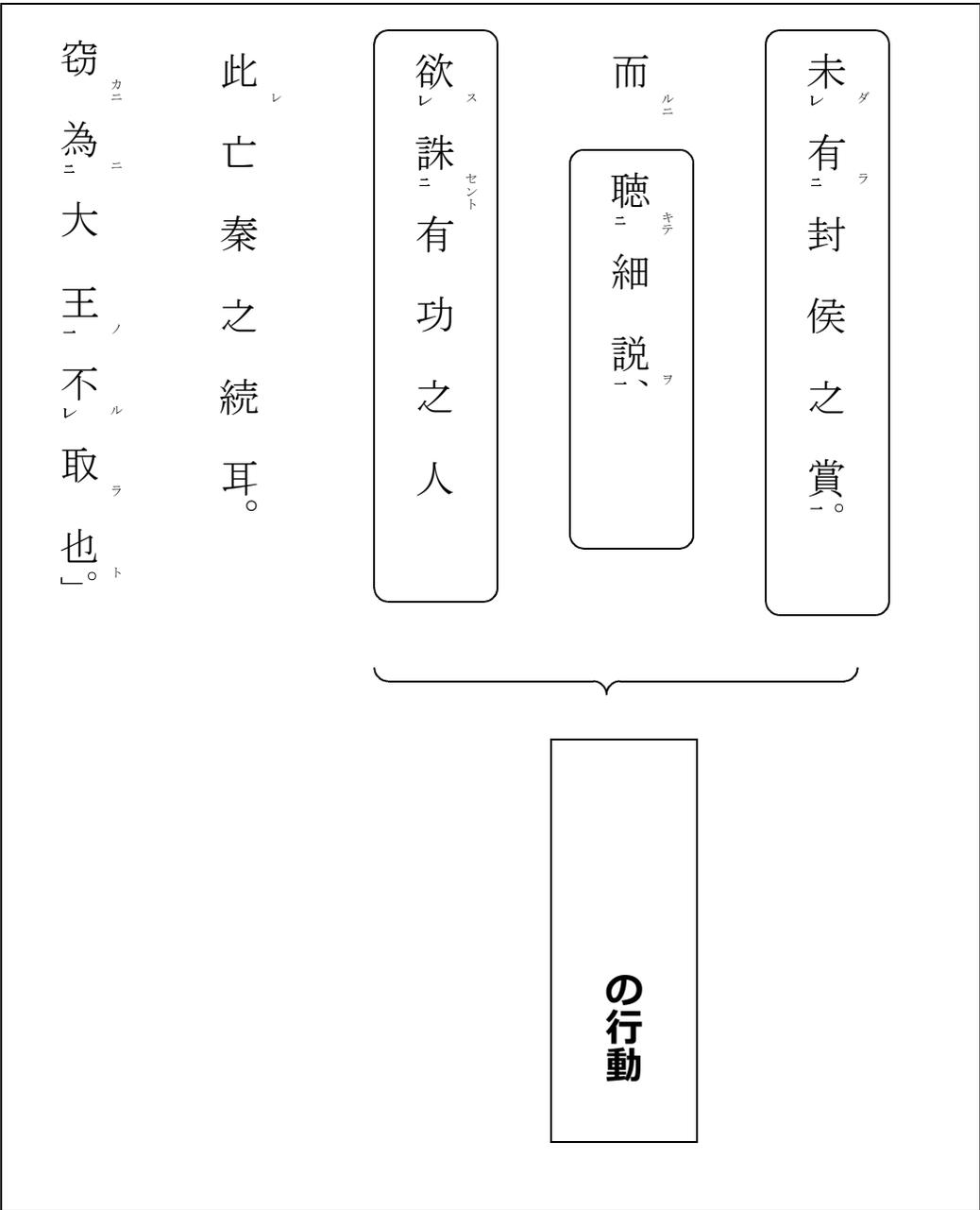
沛公は、

行動②を説明せよ。

考えるてびき

Q 「大王」とは誰のこと？

Q 将兵を派遣して函谷関を守らせたのは何のため？



考えるてびき

Q 「細説」とは、具体的に何のことか？

Q 「有功之人」とは、具体的に誰のことか？

内容点 話題にしていることがらは、適切／効果的か？

（ 5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 ）点

評価の理由／注目したところ

構成点 話す順序は、適切／効果的か？

（ 5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 ）点

評価の理由／注目したところ

表現点 使っている言葉は、適切／効果的か？

（ 5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 ）点

評価の理由／注目したところ

総合得点（3項目の合計）

<https://forms.office.com/r/2WvUjJHEtW>

URLは見るモードにすると、アクセスできます。

学習記録

課題

樊噲の発言へのコメント評価を書こう。

樊噲の発言、あなたは
どう評価する？

<てびき>このような書き方はどうでしょうか。

- 最終的には――であると評価できる。その理由は…
- この発言だけでは――だが、このことを考えると…
- この長いセリフの目的は――だ。だから樊噲は――
- 主張ははなくてもいい。しかし、これがあることで
- ――の部分は本当じゃないかもしれない。でも…

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

後期中間考査への道 十三 そして君たちは、受験生だ！

傍線部の問いに答えよ。

夫秦王有虎狼之心。殺人如不能拳、刑

人如恐不勝。天下皆叛之。懷王与諸將

約曰、先破秦入咸陽者、王之。今、沛公先破秦入

咸陽。豪毛不敢有所近、封閉宮室、還軍霸上、以

待大王来。故遣將守關者、備他盜出入与非常

也。勞苦而功高如此。未有封侯之賞。而聽細說、

欲誅有功之人。此亡秦之續耳。窃為大王不取也。

①内容

②内容

③内容

④書き下し

⑤書き下し

⑥読み

